

Mercury-LAVIS バージョンアップ編

目次

バージョンアップ時には、プロテクトの更新の後に、最新プログラムにバージョンアップします。

プロテクトの更新をおこないます 1

- 1 ネット認証ライセンス（占有）の更新 2
- 2 プロテクト Q&A 3

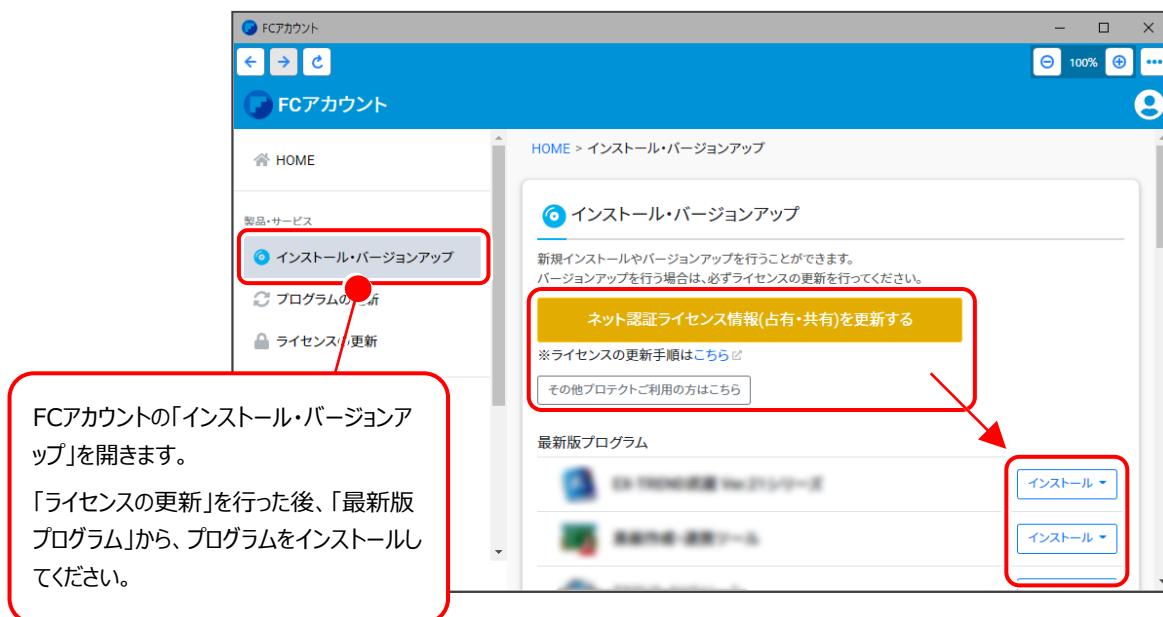
Mercury-LAVIS をバージョンアップします .. 7

- 1 インストール方法を確認します 8
- 2 「スタンドアロン」のバージョンアップ手順 9
- 3 「サーバークライアント」のバージョンアップ手順 12
- 4 フリーフォーマットを追加します 18

FCアカウントでプログラムを更新することもできます

本書では「インストールDVD」を利用したプログラムの更新手順を解説していますが、「FCアカウント」を利用して、最新プログラムに更新することもできます。

※Mercury-LAVIS ご契約中のサービスです。



セットアップの前に確認してください



Check

セットアップ時の権限について

プロテクトおよび各プログラムをセットアップする場合は、Administrators グループに所属しているユーザーや、「コンピュータの管理者」のユーザーでログオンする必要があります。



Check

セキュリティソフトによる警告について

お使いのセキュリティソフトによっては、セットアップ時に警告メッセージが表示される場合があります。警告が表示された場合には、セキュリティソフトなどの常駐プログラムを終了してから、セットアップをおこなってください。



Check

データのバックアップをおこなってください

セットアップやアンインストールをおこなう場合は、必要なデータは必ずバックアップしてください。

バックアップの手順については、各ヘルプ、またはマニュアルをご覧ください。

お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別の媒体（HDD、CD、DVDなど）に保存してください。

また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

プロテクトの更新を おこないます

オプションプログラムの追加購入時や、プログラムのバージョンアップ時には、
まず「ネット認証ライセンスの更新」をおこないます。

各ページを参照して、ご利用されているプロテクトの更新をおこなってください。

1. ネット認証ライセンス（占有） の更新 2
2. プロテクト Q&A 3

1 ネット認証ライセンス (占有) の更新

「ネット認証ライセンス (占有)」をお使いの方は、以下の手順でライセンス情報を更新してください。

※ ライセンス情報の更新時には、インターネットに接続された環境が必要です。

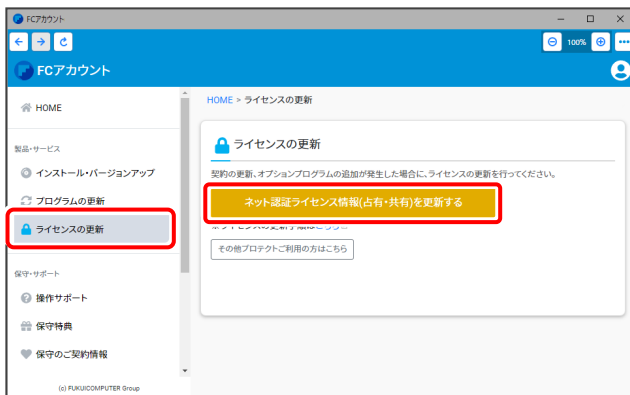
Step1 | ライセンス情報の更新

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を起動します。



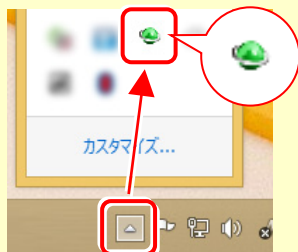
FCアカウントが表示されます。

【ライセンスの更新】の【ネット認証ライセンス情報 (占有・共有) を更新する】をクリックします。



FCアカウントを使用していない場合は

画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCネット認証ライセンスセンター」を起動してください。

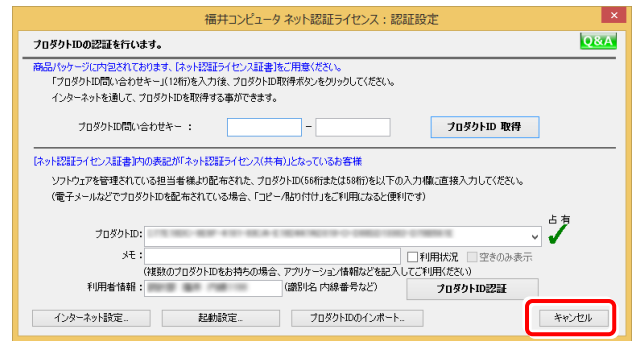


2. 「ネット認証ライセンス」の画面が表示されます。

「ネット認証ライセンス：認証設定」画面 (下画面) が表示された場合は

プログラムの起動時にライセンス情報が自動更新されますので、更新の必要はありません。

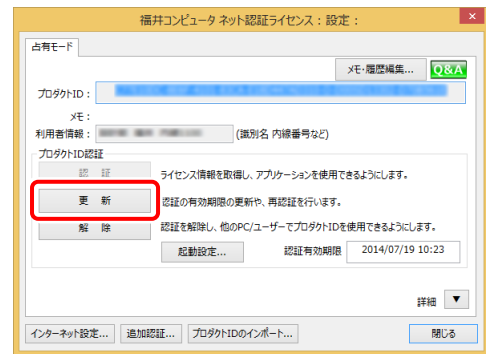
【キャンセル】ボタンを押して画面を閉じてください。



「ネット認証ライセンス：設定」画面 (下画面) が表示された場合は

手動でライセンス情報の更新が必要です。

【更新】ボタンを押して、ライセンス情報を更新してください。



以上でライセンス情報の更新は完了です。

続けてプログラムのアップデート、またはバージョンアップをおこなってください。

2 プロテクト Q&A

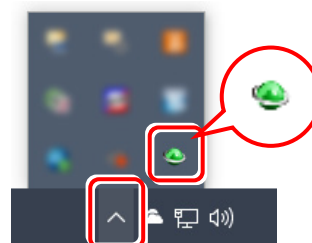
Q.1 ネット認証ライセンスの操作が知りたいのですが、どこかに資料はありますか？

A.1 ネット認証ライセンスの Q&A をご覧になってください。

ネット認証ライセンスの設定画面から、ネット認証ライセンスの Q&A を開くことができます。
Q&A には、ネット認証ライセンスの機能や、お問い合わせのあった内容について記載されています。

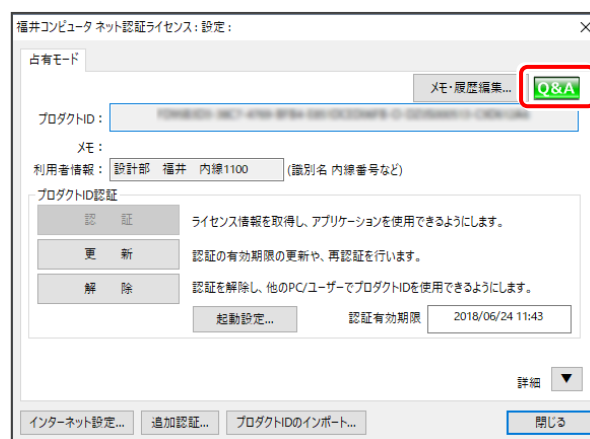
開き方

- 画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、ネット認証ライセンスの設定画面を開きます。

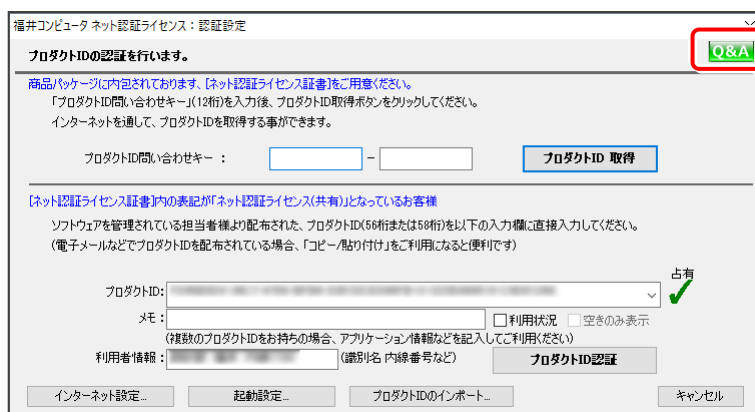


- ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。
[Q&A] ボタンを押します。

ネット認証ライセンスの Q&A が開きます。



または

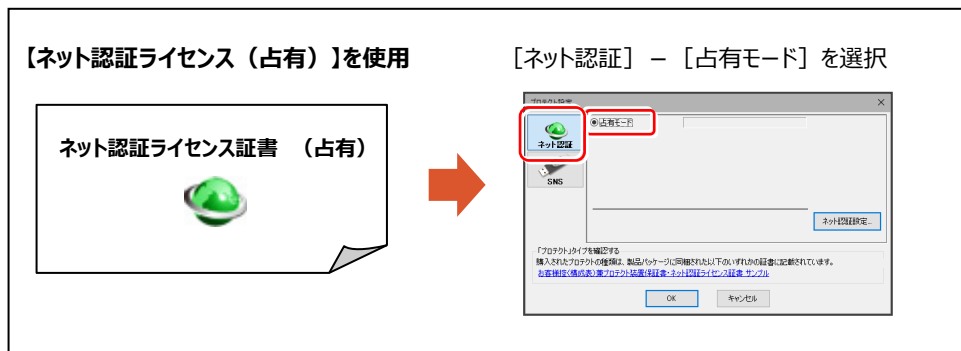


Q.2

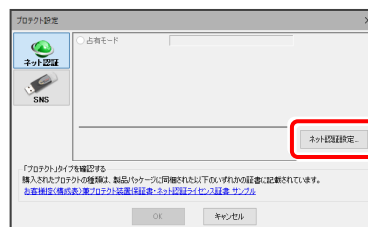
プログラムの起動時に「プロテクト設定」の画面が表示されて起動できません。
どうすればいいのでしょうか？

A.2

お使いのプロテクトを選択し、[OK] ボタンを押してください。



【ネット認証】のモードが選択できない
場合は、【ネット認証設定】ボタンを押して、
ネット認証ライセンスのプロダクトIDを認証
してください。



Q.3

「FCアカウント」では何ができるのでしょうか？ 使い方を教えてください。

A.3

「FCアカウント」では、下記をはじめとした様々な機能がお使いいただけます。

・ 製品のアップデート

CAD製品のアップデートプログラムの提供やライセンスの更新、再セットアップ用ファイルのご提供などがご利用いただけます。

・ 保守サポートサービスのご利用

保守サポートサービス「FCメンバーシップ」のご契約情報確認・各種手続き・ご契約特典などの様々な機能をご利用いただけます。

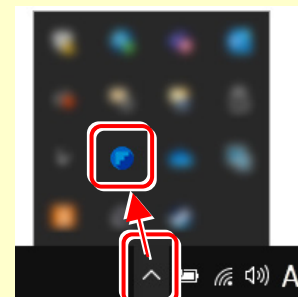
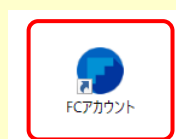


※ すべての機能を利用するには、インターネット接続環境が必要です。

※ 画面は予告なく変更される場合がございます。

「FCアカウント」を起動させるには

デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を起動します。



－ メモ －

Mercury-LAVIS を バージョンアップします

バージョンアップ時には、プロジェクトの更新または書き換えの後に、
最新プログラムにバージョンアップします。

各ページを参照して、プログラムのバージョンアップをおこなってください。

1. インストール方法を確認します 8
2. 「スタンドアロン」のバージョンアップ手順 9
3. 「サーバークライアント」のバージョンアップ手順 12
4. フリーフォーマットを追加します 18

1 インストール方法を確認します

Mercury-LAVIS のインストール方法には、次の2種類があります。

現在ご使用中のインストール方法に合わせて、プログラムをバージョンアップしてください。

● スタンドアロンでご使用中のお客様

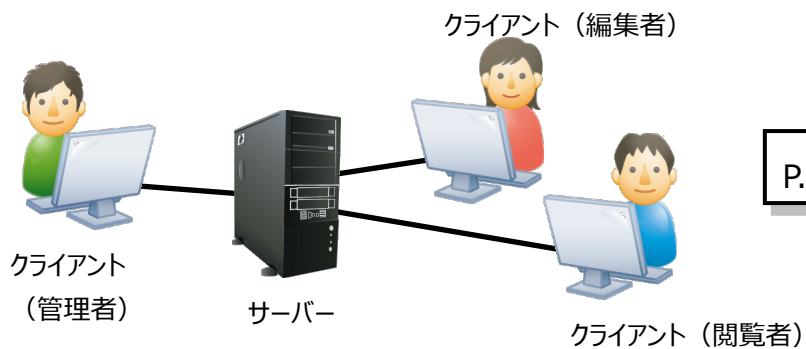
- ・ すべてのファイルを、1台のコンピューターにインストールします。
- ・ 1台のコンピューターで、地籍データを編集します。



P.9へ

● サーバークライアントでご使用中のお客様

- ・ 地籍データを、サーバーで管理します。
- ・ 複数のクライアントで、地籍データを編集します。

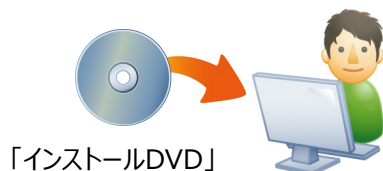


P.12へ

2 「スタンドアロン」のバージョンアップ手順

「スタンドアロン」で使用中の Mercury-LAVIS をバージョンアップします。

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



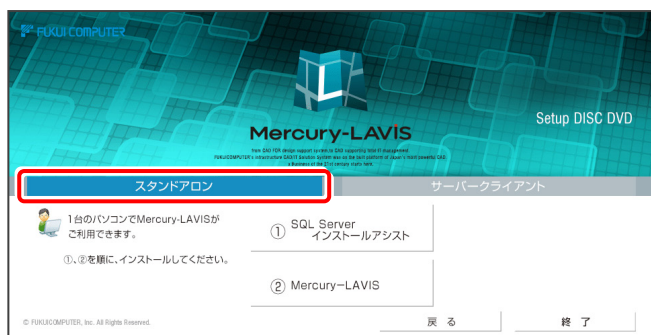
2. セットアップ画面の

「Mercury-LAVIS」ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の
「Install.exe」を実行してください。

「スタンドアロン」タブを選択します。



「Mercury-LAVIS」ボタンを押します。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



(次ページへ続きます)

[上記の全条項に同意します] をチェックして、
[次へ] を押します。



内容を確認して、[次へ] を押します。



コンピューターの時計、使用するプロテクト（「プロテクト」
タイプ）を確認します。必要があれば、変更してください。
設定を終えたら、[次へ] を押します。



「プロテクト」タイプの初期値 は、以前のバージョンで使用していた
プロテクトです。
他のプロテクトに変更された場合は、[「プロテクト」タイプを変更する]
ボタンから表示されるダイアログで、使用するプロテクトを選択して
下さい。



【 ネット認証 】

- ・ **【占有】** : ネット認証ライセンス（占有）の場合に選択します。

【 SNS 】

- ・ **【USBローカル】** : USBプロテクト【SNS-W】の場合に選択します。

(次ページへ続きます)

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認してください。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-LAVIS が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



バージョンアップ時には、最後に
「フリーフォーマットの追加」をおこないます。

P.18へ

3 「サーバークライアント」のバージョンアップ手順

「サーバークライアント」で使用中の Mercury-LAVIS をバージョンアップします。

まずサーバーで「Step1 | Mercury-LAVIS サーバーのバージョンアップ」をおこないます。

次にクライアントで「Step2 | Mercury-LAVIS クライアントのバージョンアップ」をおこないます。

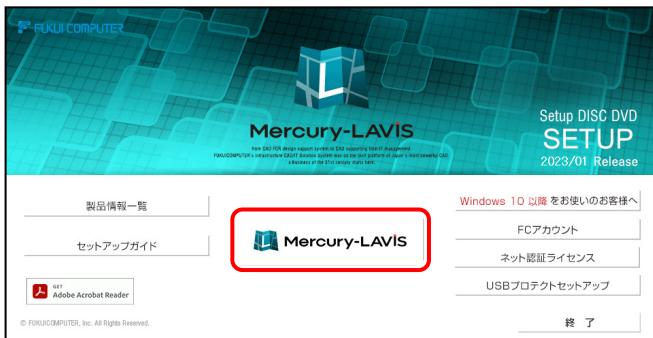
まず、サーバーをバージョンアップします

Step1 | Mercury-LAVIS サーバーのバージョンアップ

1. サーバーに、「インストールDVD」をセットします。

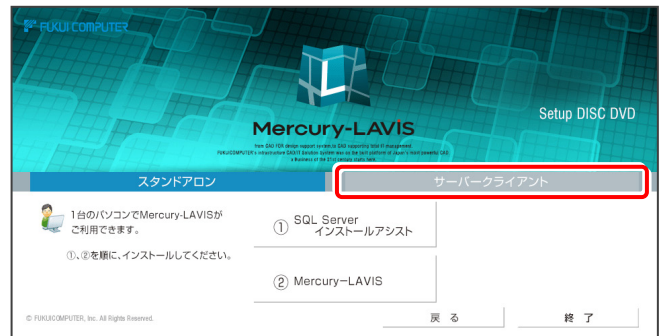


2. セットアップ画面の
[Mercury-LAVIS] ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の
[Install.exe] を実行してください。

[サーバークライアント] タブを選択します。



[② Mercury-LAVIS サーバーインストール] ボタンを押します。



(次ページへ続きます)

3. インストール環境の確認画面が表示されます。

すべての項目を確認してチェックしてから、
[次へ] ボタンを押します。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



[上記の全条項に同意します] をチェックして、
[次へ] を押します。



内容を確認して、[セットアップ開始] を押します。

プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの
誤認識について] を確認します。



(次ページへ続きます)

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動します。



サーバーのバージョンアップは完了です。

続けてクライアントコンピューターのバージョンアップをおこないます。

ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-LAVIS が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

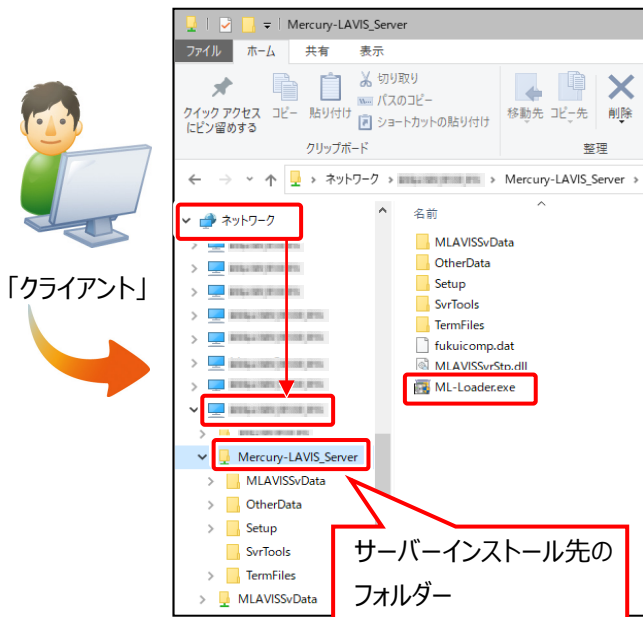
次に、クライアントをバージョンアップします

Step2 | Mercury-LAVIS

クライアントのバージョンアップ

1. クライアントで、エクスプローラーを開きます。

「ネットワーク」をクリックしてサーバーを参照し、サーバーインストール先のフォルダーにある、「ML-Loader.exe」を実行します。

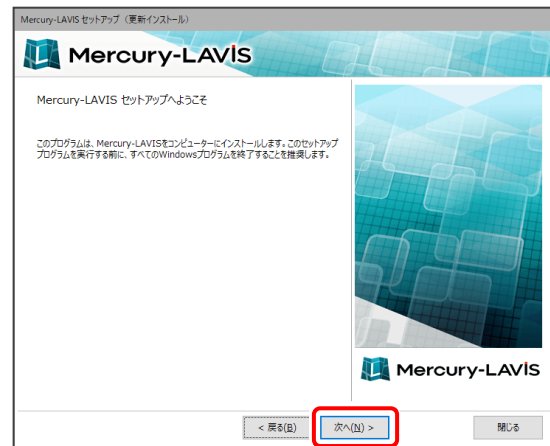


2. インストール環境の確認画面が表示されます。

すべての項目を確認してチェックしてから、[次へ] ボタンを押します。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



[上記の全条項に同意します] をチェックして、[次へ] を押します。



(次ページへ続きます)

内容を確認して、[次へ] を押します。



コンピューターの時計、使用するプロテクト（「プロテクト」タイプ）を確認します。必要があれば、変更してください。

設定を終えたら、[次へ] を押します。



「プロテクト」タイプの初期値 は、以前のバージョンで使用していたプロテクトです。

他のプロテクトに変更された場合は、[「プロテクト」タイプを変更する] ボタンから表示されるダイアログで、使用するプロテクトを選択して下さい。



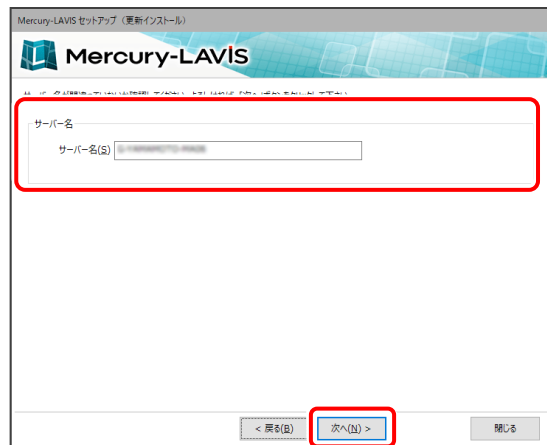
【 ネット認証 】

- ・ **【占有】** : ネット認証ライセンス (占有) の場合に選択します。

【 SNS 】

- ・ **【USBローカル】** : USBプロテクト【SNS-W】の場合に選択します。

サーバー名を確認して、[次へ] を押します。



(次ページへ続きます)

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。

プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認してください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-LAVIS が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

バージョンアップ時には、最後に「フリーフォーマットの追加」をおこないます。

次ページへ

4 フリーフォーマットを追加します

プログラムのアップデート時には、計算書・求積表フォーマットが追加されている場合があります。

最後に、必ずフリーフォーマットの追加を実行してください。

※ サーバークライアントの場合は、いずれか 1 台のクライアントで「フリーフォーマットの追加」をおこなえばOKです。
このときサーバーにフリーフォーマットが追加されます。

1. Windows11 の場合

- [スタート] ボタン - 「すべてのアプリ」
- [FukuiComputerApplication]

Windows10 の場合

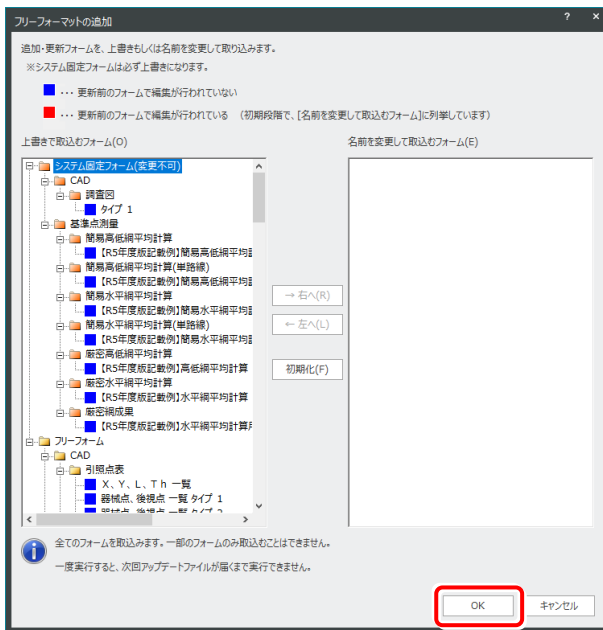
- [スタート] ボタン
- [FukuiComputerApplication]

から

[Mercury-LAVIS フリーフォーマット追加]
を実行して下さい。

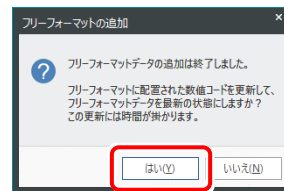
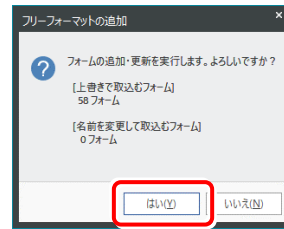
追加の必要が無い場合は、「既にフリーフォーマットデータは追加されています」と表示されます。

2. 追加フォームがある場合は、[フリーフォームの追加]ダイアログが表示されます。内容を確認して、[OK] をクリックします。

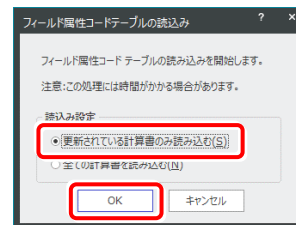


※ ダイアログの項目については、右上の [?] ボタンで表示されるヘルプを参照してください。

3. 表示されるメッセージにしたがって、処理を進めます。

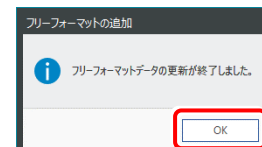
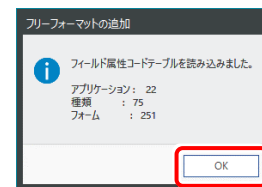


[更新されている計算書のみ読み込む] を選択して [OK] をクリックします。



処理時間は、環境によって異なりますが、1時間ぐらいかかる場合もあります。

その間、コンピューターのシャットダウン等は決しておこなわないでください。



以上で Mercury-LAVIS のバージョンアップは **完了** です。